

広島市植物公園 見どころ案内

センニンソウ (キンポウゲ科)

日本各地に自生するつる性植物。白いガク片を4枚つけています。花弁ではありません。この名は果実の白い毛を仙人に見立てたものです。

アリストロキア

・ギガンテア (ウマノスズクサ科)

パナマ産。
茶褐色の珍奇な花形がよく目立ちます。花の裏には緑色の袋があり、昆虫が入り込むと、なかなか出られなくなり受粉を促すしくみになっています。

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットがあり、セロシヤ、ユーフォルビア、カラーリーフなどを使い秋バージョンに仕上げました。

[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

ボタニカルアート教室作品展

植物の特徴を正確に美しく描いた植物細密画の世界が楽しめます。

[展示資料館1階展示室にて
~9月17日(木)まで]

ミシマサイコ (セリ科)

日当たりの良い山野に自生する多年草。小さな黄色い花を咲かせています。絶滅危惧種。

ミヤマガマズミ (レンプクソウ科)

日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

ポポー (バンレイシ科)

北米産の落葉高木。寒さに強いので、屋外でも育ちます。今、緑色の果実を上部につけています。

ハギ園 (マメ科)

秋の七草の一つです。赤紫色などの花が咲き初めました。

変化アサガオ展

展示会(9月19日~)よりも早く咲きだした鉢を展示しています。

縮んだ葉や帯状の茎、花びらの裂けた咲きなど様々なアサガオを見ることができます。

ガガブタ

(ミツガシワ科)

世界の温帯域にある湖沼などに広く生育する水草。水面上に細かく裂けた白い花弁をのぞかせています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸び、大きなカーテンを作っています。

